

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	附属期間等における公募委員及び女性委員の選出割合の目標値を達成していくためには、必要なものです。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	附属機関等の担当課に対して、目標値を示して達成への働きかけを継続することは、有効な手段であると考えます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	「附属機関の設置及び委員の選出に関する基準」及び「附属機関への女性の参画促進について(指針)」に基づいたものであり、妥当であると考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	公募委員と女性委員の選出割合を改善していくための手法については検討の余地があるかと考えます。	○ 高 ○ 中 ● 低	
今後に向けた課題の分析 公募委員については、それぞれの附属機関における要綱等により人数が規定されている例が多く、選出割合の改善についてはこの要綱等の改正が必要と考えられます。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 予算額	平成24年度 試算額	平成25年度 試算額	平成26年度 試算額
事業内容		附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進						
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.25	0.20	0.30	0.25	0.25	0.25	0.25
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,098	1,672	2,478	2,026	2,026	2,026	2,026
フルコスト (A+B)		2,098	1,672	2,478	2,026	2,026	2,026	2,026

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成24年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 公募委員と女性委員の選出割合の改善について引き続き各担当課への働きかけを行うこととし、現状規模での継続とします。	
平成24年度の取組方針	
公募委員と女性委員の選出割合が、目標値に届くことを目指して、引き続き各担当課に働きかけを行います。	
課長コメント	引き続き、公募委員と女性委員の選出割合の改善に向けて、各担当課への働きかけを行っていく必要があると考えます。

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	平塚市民の実態や意識を調査することによって、市民ニーズを把握することができます。	● 高 ○ 低
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	平塚市民の実態や意識を調査することによって、市民の施策に対する満足度を把握し、その結果を施策の展開に反映することができます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民の実態や意識を調査することは、事業や施策の展開に必要なものなので、妥当性は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	調査対象抽出標本数については検討する必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

市民意識を的確に把握するため、対象者に調査の趣旨や質問の内容を十分理解してもらえよう、設問方法等を工夫する必要があります。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 予算額	平成24年度 試算額	平成25年度 試算額	平成26年度 試算額
事業内容		調査設問の検討、実施、結果報告書作成・公表、内容・項目の検討等	市民意識調査の実施、結果報告書作成・公表	調査内容・項目の検討	内容・項目の検討、調査設問の検討、実施、結果報告書の作成・公表等	調査設問の検討、実施、結果報告書作成・公表、内容・項目の検討等	調査設問の検討、実施、結果報告書作成・公表、内容・項目の検討等	調査設問の検討、実施、結果報告書作成・公表、内容・項目の検討等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	776	1,280	0	1,697	1,697	1,697	1,697
事業費 (A)		776	1,280	0	1,697	1,697	1,697	1,697
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.50	0.40	0.30	0.55	0.55	0.55	0.55
	再任用 (人)	0.05	0.10	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費 (B)		4,367	3,688	2,478	4,794	4,794	4,794	4,794
フルコスト (A+B)		5,143	4,968	2,478	6,491	6,491	6,491	6,491

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成24年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 条例の主旨をかんがみ、引き続き住民実態調査を継続します。	
平成24年度の取組方針	
調査票の内容や調査対象の標本数について検討を続けるとともに、人件費削減のため情報処理や報告書作成については外部委託を活用します。	
課長コメント	条例の趣旨にあるとおり、行政の能率的かつ効果的な運営を図るため、また市民意識を把握して行政に反映させていくためにも、住民実態調査は継続していく必要があると考えます。